

④ 飼音の有無は記入せず。但し、飼音の有無に直接関係のある注記は有無の符号(O.X)を記したあとに注記を記入した。

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(/)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0737.94	uʃi < もとはうかつ。昭和2.3年頃か >	
0776.88	beko < 兎 >	usi'
0789.95	beko < 兎 >	
	uʃi < 今 >	
0840.33	beko < 古 >	uʃi
0861.48	be'ko' < 子供のとき、父の言がた >	
	< 今 > uʃi < ふつう こうい >	
0894.61	be'ko < 兎 いた >	
	uʃi < 今 >	
1706.82	へこ < 癩 >	ウシ

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

この種の注記は
全例有の順序(O.X)と
同じEの順序に記入せよ

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (2)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1719.17	うし 飼っていろ	
1736.84	ハコ 〈子〉	ウシ
1739.85	u'si 〈とりの部落—西2区—にいろ〉	
1744.60	うし 〈ハコとは いわない〉	
1755.53	ハコ 〈古〉	ウシ
1756.32	ハコ 〈古〉 (農家にいろ)	ウシ
1757.61	ハコ 〈見〉	ウシ
1761.74	ハコ (子供の頃 ハコを使った)	ウシ
1762.10	うし 〈昔 ハコといた〉	
1763.60	ハコ 〈ウ〉	ウシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	③ 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	(3)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1773.27	ヘコ 〈希に 備〉	ウシ
1781.95	ウシ 〈今〉	
	ヘコ 〈昔〉	
1786.13	ヘコ 〈古〉	ウシ
1791.33	ヘゴ (昔)	ウシ
1793.14	ヘコ 〈子〉	ウスイ
1859.84	beko 〈わすか = 軒 ほど〉	
1862.52	ウシ 1000 頭 ぐい	
1863.48	ウシ 〈多い〉	ヘコ
1942.03	beko 〈子供の時〉	usji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (4)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2608.90	ヘゴ 〈昔〉	ウシ
2649.79	ウシ 〈新〉	ヘゴ
2700.48	ヘゴ 〈古〉	
	ウシ 〈共〉	
2703.18	beko 〈兎〉	usi
2713.83	〈古〉 ヘゴ	ウシ
2734.05	ヘゴ 〈古〉	ウシ
2741.46	ウシ 〈共〉	ヘゴ
2750.43	ヘゴ 〈古 → 今〉	
	ウシ 〈新〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2750.44	うし <新>	へこ
2751.10	うし <共><新>	へこ
2754.56	begō <頭数少く、所は2.3頭>	
2761.77	usi <新>	begō
2762.61	usi (共通語的)<この部落にはない>	begō
2763.89	begō ^x <以前は飼った>	
2765.71	begō <古>	usi
2775.45	<古> begō	usi
2785.74	<古> begō	usi
2800.52	へこ <子>	うし

- ▶ A・〔B〕・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は紙背にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (6)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2803.22	へこ (昔)	うし
2811.01	へこ 〈古〉	うし
3619.08	bé'ko éは狭い u'ji 〈今いかに〉	
3639.49	üsü 昔は魚	bego
3648.28	bego (かい)	
3699.25	benbo 〈古〉 ^X 街道で稀に見かける程	usi
3699.55	ウス (うしとも)	へこ
3701.70	bego ^o 〈この部落では最近飼っていない〉	
3705.82	usi 〈新〉	bego

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (7)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3715.51	be:ko ^o 〈昔は いなかた〉	
3716.27	begō ○〈ただしせい〉	
3716.58	〈古〉 begō	usī
3717.90	bego 昔は○	
3722.90	bego ○(最近)	
3723.21	bego ×(余り飼っていない)	
3727.81	へご (古)	ウス
3737.32	へご 〈古〉	ウス
3740.33	bego ○(此頃多し)	
3742.82	bego ×(今は少しいる)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(8)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3744.37	へこ ○最近飼っている	
3746.09	ü'ʃi 〈古〉 多い	be'ko
3746.76	へこ 〈稀〉	ウシ
3747.45	ウス へこ 〈稀〉 (多い)	
3747.91	へこ 〈古〉 ○(大に飼育している)	ウス
3750.75	bego ○昔はいたがたか今は多い	
3752.53	beko 多いか 新しい	
3753.88	へこ 〈古〉 ○多くなりつつあり	ウス
3754.76	へこ 〈古〉 ○多くなりつつあり	ウス

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (9)
項目名 いし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3756.26	へこ 〈希〉 〇〈多〉	ウシ
3760.93	beko 〈古〉 uʃi	<p>昔は全くいなかつたが今は多い。 昔はあの家は財産家だといふこと あの家には kinno beko がある 〈金の牛〉 といったものだ。</p>
3761.74	bego 〇(最近)	
3763.17	へこ 〈古〉 〇多くなる	ウス
3764.16	へこ 〈少〉	ウス
3764.86	へこ 〈少〉	ウス
3765.28	uʃi い beʔko 〈古〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (10)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3765.74	ウス ヘゴ ○(乳牛が多い)	
3768.50	ヘゴ 〈ヤヤ古〉	ウス
3774.61	ウス ヘゴ ○ 漸増	
3775.11	ヘゴ (ケ)	ウス
3775.83	ヘゴ (古)	ウス
3777.86	ヘゴ 〈ケくなる〉	ウス
3783.11	ヘゴ ○(最近多い)	
3784.87	ウス ヘゴ (若い人々) (古瓦) ×(町内には聞かない)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は敬密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ ベーク
項目名 じし			(11)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3785.42	ウス (乳牛)	ハコ
3786.01	ヘゴ (ケ)	ウス
3786.44	ヘゴ (花)	ウス
3787.45	ヘゴ ○ケシ飼っている	
3787.50	ヘゴ 女子は多く「ヘゴ」を用いる由	ウス
3791.02	ust+〈新〉 多くいる	beko
3794.55	ヘゴ ○多くなりつつある	
3795.19	ヘゴ (古) ウス (新しい乳牛) ○多くなる化傾向	
3795.86	ヘゴ (ケい) ○(多くなりつつある)	ウス

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(12)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3796.48	ベコ ○ (ケ)	
3796.95	バーゴ ○ 〈盛んに「なってきた」〉	
4597.66	ウシ 〈新〉	ハッコ
4598.33	bakko 〈古〉	usi
4609.07	usi ○ 〈20年程前、この飼うように「なつた」〉	
4609.54	bego 〈わりとあとで、最上地方から入った語〉	usi
4609.68	usi 〈一般的〉	bego
4619.23	be ^r ko 〈古〉	ü ^r si
4619.29	usiü 〈一般〉 (usi という場合もある)	bego
4619.63	usi 〈ベコは「かわぬ」〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ (13)
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4619.98	usi ◯ < たたし、飼いはじめから10年程にしか ならない。以前は馬だけ。 >	
4628.28	usi ◯ (昔はウシ)	
4629.43	beŋo < ハゴカ主 > usi < 精上 >	
4637.20	usi ◯ (今内浦部落に3頭ほどいる。 根調査者宅でも飼育したことがある)	
4639.10	usi ◯ < 牛 → 馬 → 牛と変わった >	
4639.69	beŋo ◯ < 今も飼っているが、昔は飼っていた >	
4643.47	usi 昔から飼っている	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(14)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4647.69	uʃi 今ほ牛を多くみるようになったが昔は少かった。 然し被調査者は所の中には住む町人(?) である。	
4648.59	uʃi 〇昔は居たが現在15頭位居る。	
4654.52	mo: mo: 〈子〉 bo: 〈子〉	uʃi
4658.42	* uʃi ほいめ be:ko と答へ 此は山形県の 言い方として訂正した。	
4659.01	be:ko 〈古〉 〇〈今ほいさか 昔は殆んどいなくなった〉	
4659.85	uʃi 〈上〉	bego
4663.49	mo: mo: [見] 〈昔ほいさかた。しかし徳川時代には 居たと記録がある。今ほ居る。〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (15)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4666.42	wji X 219~222 豚肉しん	
4666.99	wji ◦ <牛は昔は希であったが近年は多くなった> bego ... (219.220で自然に出た語)	
4668.27	wji <子> <どちらも同じ位使うが子供は左 bego <右> wjiを使う。>	
4675.45	men men <子>	wji
4675.62	wji X 219~222は豚肉しない	
4676.39	usi ただし単にusiといえは子つがは 此牛をいう。 (この地点は明治後期から酪農が盛)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4676.42	ウシ ○(少い)	
4676.60	wʃi X(2年位前まで相当居た。 農業の機械化で今は殆んど居ない)	
4678.77	wʃi ○(部落に乳牛が20頭居る)	
4685.28	wʃi X 今は少くなった。	
4685.88	uʃi ○ 飼っていた。今は少い。	
4686.52	wʃi ○ 昔は牛を飼わなかった。	
4686.96	wʃi ○ 以前はいなかった。七年前から牛が入った。	
4687.01	wʃi ○ 部落中に2頭いる。昔は馬だけで牛は居なかった。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (17)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 或した語形とその注〕
4687.37	wji 〇 〈最近 15~20 年の間に多く飼う様になった〉	
4689.10	beko wji 〇 牛頭ほといす。農耕用。	
4689.14	bego X (×とあるが、最近牛が多いうのである。しかし農家でないため関心がなく傾向を 220~220 までしなかつた)	
4689.62	me: 〈子〉〈子どものこと。よく me:kita かとて言った。今は使わない〉 wji 〈新〉	bego
4689.86	beko 〈古〉	wji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (18)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4694.95	〔 〕 <u>bo</u>	ushi
4695.21	ushi ○馬よりはヤ多くいる。	
4695.87	ushi ○(ケしてあるかいる。被調査者と飼育したとある。)	
4697.92	ushi (牛は飼われ始めたのが新しいこと。したがって bego という語はきくとはあるが 乳牛と使わないという。)	
4698.21	beko 10頭ほど飼っている。子牛と卵の目的。	
4699.07	ushi <これが多い> ○牛乳をとりたため beko <これも使う> 飼っている。	
4699.42	ushi ○農耕用に飼う。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (19)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4700.78	usi 〈昔〉 ○〈大正初年に導入〉 beko 〈今〉	
4701.14	beku ^o 〈2,3 頭うる〉	
4701.73	usüi 〈稀〉	bego
4703.88	! bego ○〈最近から〉	
4704.45	ウス (近ごろ)	へへこ
4704.96	へこ 〈古〉 ○〈多い〉	ウス
4712.16	! beko 〈古〉 ○〈今は殆どどの家で飼う よりになった〉	ust
4712.54	usi 〈新〉 ○〈昔はウシから ^{たウ} 今は多い〉	bego

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (20)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4713.45	be:ko <古><今は稀> ○<最近特に多くなった>	usi
4713.60	bego ○<昔は100軒に1頭割りでしかなかったが、今は非常に多くなった>	
4714.22	bego ○<特にこの頃多くなった>	
4714.68	! beko <古>	usi
4715.33	be:ko ○<主に最近>	
4715.98	usi <上> 昔はX, 今は○	
4716.20	be:ko ○<ただし乳牛だけしか飼っていないようだ>	
4716.72	usi <新> X...<昔> be:ko <古> ○...<今>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (21)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4721.36	msi 〈共〉	bego
4722.40	beko ○〈昔は馬ばかり〉	
4722.55	bego ○〈昔はいなかったが、終戦後から多くなった〉	
4723.58	msi * bego	
4724.75	beko 〈古〉〈稀〉 ○〈特に戦後多くなった〉 msi	
4725.92	msi (別に共通語的な言い方ではない) beko 〈この方を多く使う〉 〈いつれにせよ昔が用いられていた〉	
4726.80	msi 〈両方とも昔から使っていた〉 beko X 〈こういう動物がほかの町村にいて、 こういう名称であると聞かされていたが、 自分の村で実物を見たことはなかった〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4730.96	usi 昔は いなかったか今は多い	
4731.42	usi <上>	bego
4731.59	blko o <乳牛が多い>	
4732.18	bego o <昔は少なかった>	
4734.56	bego o <戦争後 特に増えた>	
4735.37	bego o <最近(20年くらい前)から 飼うようになった。>	
4742.37	usi <新> o... 但し. 最近から.	
4743.44	beko <古>	usi
4744.32	usi <昔使った> o <特に二頭多くなった>	beko

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (23)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4745.27	beko 〈新〉	usi
4746.20	! beko 〈古〉 ○ 〈終戦後 言葉は多くなった〉	tst
4751.42	usüu 〈新.エ〉	bëgo
4753.76	! bego 〈古〉	ust
4760.98	bë'ko eは狭い	
4761.07	usüi 〈新〉 ○ 〈昔からいた〉 beko 〈古〉	
4762.77	tstgi 〈共〉 ○ 〈十年間の事〉	bëgo
4762.90	beko ○ 数頭いる	
4763.45	{ usst + bëgo 〈古〉. bëgo 〈新〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (24)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4771.92	uɸi 〈新〉	bego
4771.98	beko ○(乳牛4, 和牛1)	
4772.33	beko 〈普通使う〉 uɸi 〈これも使う〉	○役牛. 乳牛
4772.48	bego 〈古〉	uɸi
4773.15	beko 〈古〉	usi
4773.27	uɸi 〈共〉	bego
4773.70	beko 〈今も使う〉 usii 〈最近使うようになった〉	
	○100頭近くいる。乳牛15。 その地は肥料をとり、子牛と3丁め。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (25)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4780.26	usji 〈水を多く使う〉 〇15頭 ^{乳牛3} いる 糞料 ^{糞料12}	beko
4780.60	usji 〇朝鮮牛5頭飼っている。	
4780.64	bego 〈古〉	usji
4781.48	usji 〇(乳牛・耕作用牛として飼う)	
4781.86	usji 〈共〉	bego
4782.96	usji 〈これを多く使う〉 〇大部分は乳牛。 役牛小教。	
4783.38	beko usji 〈同じように使う〉 〇多く飼っている。	
4784.41	bego 〇(多)	
4790.30	{be:ko usji 〇50頭は飼っている。	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (26)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4790.74	uʃi <新> <ちかごろは、牛を、農業用語としては ふつう使う。>	bego
4791.12	beko <普通使う> ○耕作用牛多い。乳牛9頭	uʃi
4791.39	beko <もともと盛んに使った> uʃi <今多く使う>	
4791.61	beko <uʃiともいう。bekoを使うところ多い> ○多く飼う。	
4791.65	beko <使うところある> uʃi <これを普通使う>	
4792.43	be:ko <昔>	üʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買附番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (27)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4792.80	uʃi 〈これ使う〉 部落の牛の糞 ○和牛8 乳牛12	be:ko
4794.30	uʃi ○農家には大抵飼っている。	
5472.31	モオ 〈子〉	オシ
5508.43	bekko 〈古〉	uʃi
5517.24	bakko 牛一般。又は牝だとう	
5517.57	bakko 〈古〉	uʃi
5518.20	bakko (牛全般のこと)	
5547.96	ウシホオ ʒi = si	
5569.36	〈幼〉モオ	
5574.79	uʃi ○ (飼っているとはいっても、板垣町戸数1057 の中、農67戸。その中に10頭いるだけ。 それも最近のことである。Xに近い)	ウシ ✓

日本語地図資料用紙 注記一覧

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (28)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5599.41	モオ 〈幼〉	ウシ
5603.35	wʃi x 少い	
5604.28	bo 〈子〉 bo: 〈子〉	wʃi
5605.70	wʃi 〇(以前は相当いたが、今は部落に 二頭だけ)(被調査者も飼育 したことがあった。)	
5607.17	wʃi 〇 20頭ほど飼っている。	
5608.16	be:ko 〇 和牛5頭いる。肉をとりためもの	
5608.51	wʃi 〈多用する〉 〇〈戦後 飼育(始める)〉	bego
5609.26	be'ko 〈多〉	wʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (29)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5611.74	バオオ (子)	ウシ
5612.98	wʃi ○馬より牛の方が多くた。た。	
5613.48	bo: ^ま <希> bebo: (希)	wʃi
5617.28	wʃi ○肉をとるために 8頭飼っている	
5618.43	wʃi <共. ふつ>	bego
5620.32	ウスイ si = si	
5620.80	üs 少なくなった	
5623.27	bebo [古]	wʃi: bo:

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (30)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5623.42	ushi ○(たぐさん飼っている)	
5623.85	be:bo 〈子どもに多く使う。tʃitʃibe:bo(乳牛)〉 ushi	
5625.91	ushi ×(昔は少しいた)	
5626.92	ushi (昔はいなかった。最近は飼っている)	
5632.28	bo:bo: 〈昔はbe:bo:とも言ったの朝鮮牛の はいってきこから 今からは使わなく なつた。 あをしや何を飼っているしや。*bo:da のように 言う。〉 ushi	
5633.45	be:bo:	ushi
5635.48	ウシネンホオ<古> ウシ<コトキキトキニ>	ウシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (31)
218	206		
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 38.53	うし X〈2里位離れた所には居る〉	
56 41.07	ushi O〈少しいる。肉用〉	
56 42.17	ushi X〈旧長野市では飼っていない〉	
56 42.31	ushi O〈最近ふえた〉	
56 44.74	うしネンホオ〈子〉	うし
56 46.71	うしネンホオ〈古〉	うし
56 47.56	うし 〈乳牛 14,5 和牛 4〉	
56 55.57	うし 〈このころかいはいめた〉	
56 64.51	ushi O〈酪農が盛んで多く用いる〉	
56 67.77	ushi 昔はあまり飼わなかった。昭和67年=30%多くなった。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (32)
項目名 じし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕		A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5671.00	ufi	〇〈少しいる〉	
5671.68	ufi	〇大正ごろから	
5672.67	ufi	〇〈少しいる〉	
5674.54	ufi	〇〈15頭ぐらい〉	
5675.87	うし	〇乳牛	
5676.28	ufi	〈飼っている。乳牛が多い〉	
5677.14	ufi	〇〈殆んどどの家でも飼っている〉	
5678.71	ufi	〇大字 宮内だけで何頭かいる。	
5680.34	mo:mo	〈子〉 〇〈23年前から〉	ufi
5682.34	ufi	〇〈いくらかいる〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (33)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5683.61	うし ○〈最近飼った者がある〉	
5684.11	uʃi ○〈かなりいる〉	
5684.26	bo: 〈希〉〈家でだけ使う〉 ○30頭くらい uʃi	
5685.37	uʃi 〈乳牛を飼ったことがある〉	
5686.15	wʃi 昔は少なかった。	
5687.59	wʃi いくらかいる	
5688.01	うし 〈但し乳牛。乳牛は相当いる。〉	
5689.98	wʃi 昔は牛は殆んど居なかったと云ふ。	
5693.78	うし 〈共〉	ウシンベエ
5694.31	うし 〈共〉	ウシンベエ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (34)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5695.47	uʃi 昔は多かった	
5696.13	ウシ 昔〇今× 但、 ^{コナ} 古里部落には今乳牛あり。	
5697.53	uʃi 〇<最近飼うようになった>	
5698.19	uʃi 牛は幾分飼っている。	
5699.25	uʃi. X<酪農業はしていないので牛が最近いなくなった。但し、牛を見ないというのではない。>	
5700.32	beko 〇17頭飼っている。	
5701.25	bego 多くはない	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ (35)
項目名 うし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5701.73	beko <多く使う> ushi <これも使う>	
5702.52	beko <普通これを使う> ○ <耕作用に多く飼っている>	ushi
5703.03	bego ushi ○ 乳牛12頭. 和牛(肉牛)14頭 飼っている。	
5703.70	ushi <新>	bego
5710.29	beko ○ 市内には乳牛. 役牛として飼っている。	
5711.18	ushi ○ 農耕用と乳牛とにために相当数飼う。	
5711.85	beko [古]	ushi

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (37)
項目名 3し			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5723.60	bego <もうこれは子どもには解かない>	uʃi
5732.13	be:ko <古>	uʃi
5732.73	[be: kome] <古・希>	uʃi
5733.02	be:ko <昔は木材運搬に使うだけじゃなかった>	uʃi
5741.25	uʃi 別に調査して、他を被調査者によれば uʃime	
5741.66	uʃime ○今、多い 昔、少い	
5760.24	uʃi'me <多い>	uʃinēmbō
5762.41	uʃime ○<昔は大谷町にもいるが、これも少くなる傾向である。>	
5780.11	mo: <子どもに対して>	uʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (38)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5790.03	ushi ×ほとんどいない。	
5791.68	〔mo:mo〕〈児〉 ○馬の後のこと。	ushi
5792.62	ushi ○馬の牛に変わった。牛もたれでい。	
5793.63	ushi 昔○	
6349.80	ushi 多い	
6356.98	モオモ 〈子〉	ウシ
6357.38	モン 〈子〉 , モンモン 〈子〉	ウシ
6358.43	モオン 〈子〉	ウシ
6368.60	ushi 多い	
6374.68	○〈オシの飼ってない〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(39)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6388.49	uʃi Δ(非常に少ない)	
6401.89	モオ <子>	オシ
6402.94	モオコ <子>	オシ
6408.72	uʃi 昔は牛が多かった。牛で荷物を運んだ。	
6410.45	うし ○ <牛も少ない>	
6410.77	エ>モ <幼>	オシ
6412.91	usi 多い	
6413.29	üʃi 区よりたくさんいる。	
6414.25	ba:ba (小児語)	uʃi
6424.89	uʃi 農耕に使ったので多かった。今は牝牛はいない。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (40)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6426.47	uʃi どの家にもいる。	
6430.53	モオン 〈幼〉	ウシ
6439.01	ウシ ○ (被調査者の部落や、鉱山の範囲には牛はいない。4km外に出ると、但馬牛の産地であり、普通に知っていると答えた。)	
6440.25	モオン 〈子〉〈鳴声を幼語とある〉	ウシ
6440.67	モオン 〈子〉	ウシ
6447.08	bo: 〔豊〕おとなでは、牛は土の畑を耕す。○ 耕作牛 乳牛 ともにあり。	uʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
項目名 うし			(41)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6448.61	モオモオ 〈子〉	ウシ
6449.33	ウシ 子イ子イ乳。	
6456.73	ウシ 牛は多い。	
6457.51	ウシ 昔は多かったです。今は少ない。	
6458.40	モオ 〈子〉	ウシ
6460.10	ウシ 多い	
6473.65	ウシ X 〈但し見ている〉 注記により、ウシ(は血)いる とみとむ。 Sat.	
6475.32	ウシ O 〈下津井地区で5匹(ういたろ)が それと 乳牛のみ。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (42)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6477.02	うし 〈牛は多い〉	
6479.95	うし 町外れでは飼っている。	
6484.43	うし 〈コシゴチを減少させたけれども 農業を移家及び一匹は飼っている〉	
6484.78	うし 農家は八割まで家内に飼っている。	
6488.48	「ushi 牛の方が多い。	
6489.27	うし 一部の地域にあり。	
6491.65	ushi ○〈農耕に使いはするが、主として厩肥 を作るため。近ごろは動力用材が 多く入っているし、そうしなくては 2〜3畝を 1 日に留められない。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(43)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6492.11	ushi < o:sima-ushi とって名高い。月の4日には市かたつ。 >	
6494.08	ウシ ンモオ < 子 > < 牛はこのあたりに多い >	
6494.21	ウシ < この島には牛も飼っていない >	
6506.86	mo:mo: < 子 >	ushi
6510.65	ベコ < 子 >	ウシ
6524.01	mo < 子 >	ushi
6526.04	< 子 >! モオ	ウシ
6536.39	ushi (但し、昨年の伊勢湾台風のため全滅して現在はいないといふ)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記	ページ
218	206	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(44)
いし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6538.02	usibo <子> <幼児のこと>	usi
6538.46	usi <共> usibo:	
	○ 私の部落には東加茂のあたりから牛が入ってきた。しかし私は飼っていないのでよくは牛のことを知らない。>	
6540.79	ウシ モウ	
	○ 馬より多いが一般に少ない。	
6544.69	usime <子>	usi
6545.41	mo: <子> <子供のこと>	usi
6547.24	usi ○ <多量の子>	
6548.02	1. usi <2は耕作用の牛で、1は馬とか豚とかに対して牛Eあらわす。> 2. bō:	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ (45)
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6552.71	うし X 〈昔は飼っていた〉	
6552.90	uʃi (「うし」) 〈牛車も多かった〉	
6553.22	uʃi O 〈農家で50頭くらい飼っていたが最近では減った。〉	
6553.47	usi O 〈昔は十頭ばかり飼っていたが今は二、三頭しかいない。〉	
6553.83	子 mo:u (「モウ」は子供、とくに幼児指である) O 農業は8軒であるが2軒飼っている。必要な時は 海上郡の山向部の牛を提供してくれる。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (46)
項目名 うし			

地点番号	A. 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕		A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6553.99	ufi	D → 2.3年前までは10頭いたが、現在は2.3軒(2.3頭)しか飼っていない。だから0.9半分とある。	
6554.08	うし	〇〈所々に少し飼っている程多〉	
6563.43	ufi	〇〈いつも飼っている家は1.2軒しかなく、山向部(山辺郡おほかた理市福住)から応援にきてくれる。〉	
6563.84	mo:N	〈思〉	ufi
6564.33	ufi	〇(町外れの農家...朝日町.平尾町.南町)で牛を飼っている。	
6564.51	ufi	〇〈村内では.50戸につき10頭平均いる〉	
6566.51	ufi	〇〈牛乳屋に1位位の飼っているが、これは少ない〉	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (47)
218	206		
項目名		うし	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6568.09	? bo [?] : (被調査者はこれについては確信のないようにおもわれる。尚、同じ工場の他の者は、bo [?] はOUSIのことだといふ。)	ushi
6569.12	ushi	これは調査したての項目だからか?
6572.97	子 mo:n ushi	〇〈70頭ほどいる。五条町の同地区に農家が多いから。〉
6573.17	ushi	〇〈当地域は特に牛が多く、'宇陀牛'といわれ、乳牛が多い。榛原町にて市がある。〉
6573.71	ushi	〇〈「朝鮮牛」を飼っている。それは旧下市町の商店街にはなく、新たに編集した秋野村、丹生村に於てである。各戸も大体持っている形である。〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ (48)
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6574.06	uʃi 〇<三枚 枚全体で300頭飼っている。 蒼野では100頭(約100軒)飼っている。>	
6580.66	毛子 <子>	ウシ
6583.19	uʃi X<昔、借りて来て使ったこともありか。 田か殆んどないで、その必要もなかった。>	
6583.41	uʃi 〇<西日暮地区では、5の6頭いる。分岐 に糞草と世草、食用にする。トコツハ(屠 殺場)も各自 粗末なものをもっているようにある。>	
6583.93	uʃi 〇<昔はいた> ← X(昔はいた)とみん. Sat.	
6584.90	uʃi X<昔はいたか>	
6587.42	ウシ X<稀に乳牛がいただけ>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 ウシ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(49)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6593.98	usi ○〈昔は20頭いたが今は10頭になった〉	
6600.53	usi ○〈ウシ〉	
6600.97	usi ○〈12頭いたことある〉	
6603.08	ウシヤエ [古]	ウシ
6603.24	ウシ ×〈芦安村で1.2軒飼った家が以前あった程交。〉	
6603.52	^{usi} u simbe: (ほとんど飼わなかったが今はない)	
6604.38	ウシ ○〈最近少しある〉	
6605.84	ウシヤエ [古]	
	ウシ [共]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (50)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6606.38	-ujimbo: 〈牛, 9 歳程〉 〈近年飼いはした。〉	-uji
6608.22	うし 〈乳牛のよたの。乳牛なら4ヶうしと。〉	
6610.77	uji こらこら	
6613.07	ウシンバエ 〈ほんわかしか飼ってない〉	
6613.97	uji いまも	
6615.02	うし 〈共. 上〉	ウシンバエ
6615.09	ウシンバエ 〈子〉	うし
6618.46	うし 今 X	
6620.49	uji 〇 〈多<い〉〉	
6622.69	uji 昔は飼った。	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (51)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 24.13	uʃinbe: 子	uʃi
66 24.65	uʃi ○ 乳牛・肉牛を飼う。	
66 25.17	uʃi 少 ○ 最近飼うようになった。	uʃinbe:
66 26.30	uʃi 昔はあまりいなかったが、今はふた。	
66 28.23	-uʃi 〈 殆んど飼っていない〉	
66 31.60	uʃi ○ うしは多い。	
66 32.15	uʃi ほとんどいなかった。	
66 32.64	uʃi 但し 3頭。	
66 32.88	uʃi ○ 以前は多かったが、今は多い。	
66 34.32	uʃinbe: 〈 普通〉	uʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 f	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(52)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6635.20	uʃi ○少ない	
6635.87	uʃi ○うしは飼っている。	
6641.43 [*]	uʃi 〈全牛で1.2頭〉	
6642.33	uʃi ○うし。乳牛だけ	
6642.58	m̄o: 子	uʃi
6642.85	uʃi ○乳牛	
6646.23	uʃi 〈新〉	uʃinbe:
6650.12	uʃi 希	uʃimbo:
6655.87	uʃi ○(殺牛が多い由)	
6657.96	uʃi ○昔…多。今…馬の方が多くなった。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

買割番号 218	地図番号 206	③ 普通注記	ページ
項目名 うし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(53)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6665.25	uʃi 〇 <昔は馬と役牛だったが、今は乳牛>	
6677.70	uʃi 〇 以前は飼った。朝群牛が多かった。	
6702.21	uʃi 〇 -もと。馬 → 牛 → 耕かん科	
6711.16	usum 今×。昔〇	
6730.33	uʃi 〇 県内の牛の産地。たくさんいる。 [見] 子供は [monko] ともいう。	
7218.09	uʃi 多かった。 } 後頁(7.61)参照でいい。 科	
7218.26	uʃi いた。 }	
7218.58	uʃi 多かった。	
7229.75	uʃi 〇 町内にはいないの？ いた分にはいる。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(54)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7246.82	u ^h :si 牛は多い。	
7302.87	u ^h si 〇 (乳牛が多いと答へ)	
7312.69	u ^h si 〇 多い。	
7323.02	u ^h si 〇 多い	
7323.17	u ^h si 〇 多い	
7338.55	u ^h si 〇 三本場がある。misaki ^h si (三崎牛) の本場である。 koda ^h si (子を産ませ(産子)の tame ni kau の 8~9 割までである。	
7341.47	モオ mo: 〈子〉	うし u ^h si

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(55)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7349.07	uʃi 〇〈50~70頭居33〉	
7351.68	uʃi 〇多い	
7352.38	uʃi 〇以前は馬が多く、牛は少なかつた。	
7352.61	ウシ 〇昔は極めて少なかつたが、今は馬より多くなった。	
7361.82	uʃi 昔は少なかつたが、今は多い。	
7373.23	ウシ 〇少ない	
7373.92	ウシ 〇終戦後多くなった。	
7375.30	uʃi 〈牛を多く飼っている〉	
7375.37	uʃi 〈牛の数を多く飼っている〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

頁 間 番 号 218	地 図 番 号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (56)
項 目 名 じし			

地 点 番 号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕		A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7375.71	ufi	〇この辺は牛の方が多い。	
7375.96	ufi	〇馬を飼っている所もあるが牛の方が多い。	
7376.62	ufi	牛の方が多い。	
7376.68	ufi	〔このあたりは殆んど牛ばかり飼う。203〕	
7377.72	ufi	<牛の方が多い>	
7381.38	ウヰ	X <昔から現在まで三角浦本村では牛馬とわら一匹もない。> <?>* <子供の時分には牛は少教いたが今はない。>	
7382.97	ウヰ	〇(殆んど牛ばかり)	
7384.16	ufi	〇牛の方が多く飼っている。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は密着にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	(57)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7385.38	ushi 牛の方が多く飼っている。	
7385.84	ushi 〇牛を飼うことか断然多い。 馬は二、三頭とか。	
7386.63	ushi 牛の方が多い。	
7391.44	うし 〇多く飼われている。	
7392.33	うし 〇〈終戦後初めて初めて牛を飼う家かできた。主として乳牛。〉	
7395.09	ushi 〇飼っているのは殆んど牛である。	
7395.25	ushi 多く牛を飼っている。	
7395.63	ushi 現在は殆んど牛を飼っている。	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (58)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7395.88	ushi 牛の方を多く飼っている。	
7396.16	ushi ○ 牛馬も農家では飼っている。	
7400.15	ushi ○ 〈多い。乳牛育成地である〉	
7401.92	ushi ○ 〈農耕に使っているものが多い〉	
7402.42	ushi ○ 〈村内(旧吉岡村分)に 150~160 頭いる。〉	
7402.47	ushi ○ 〈耕作面積 5~6 段以上の 農家では労力源の他に 肥料源として飼っている〉	
7403.21	ushi ○ (農耕用には相当使われている)	
7404.12	bo: 〈3〉 bo:ga kijorun など幼 子供にいう。 ushi	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記	ページ
項目名 うし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(59)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7404.56	uʃi ○ [^m maよ)ゆ多い]	
7406.53	uʃi < 昔は子供に交しては mo:wa とった > < 今も成牛は oʃe とう >	
7411.61	uʃi ○ < taigai no ieni ori masu > < tʃitʃi-uʃi mo jo:ke ko:tori masu >	
7412.71	uʃi ○ < 農耕にも使う。肉牛として飼育している。村内で300頭位いる。郡内での優秀なものは1匹。東京送って一筆を得たこともある。 >	
7416.34	uʃi X < 谷氏一代で2,3頭は飼った。今の若い者が耕か村で買っ交換した。 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	○ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (60)
218	206		
項目名			
うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7417.27	usi (軽くうしときは ũsi) である。丁寧には とき、力を入れて言うときは ũsi となる。 _た)	
7417.79	usi (ずねうしに発音すれば ũsi になる)	
7421.38	usi ○ <omo desu wai>	
7421.62	usi ○ <多い。農家では殆んどが家の飼 っている。乳牛のふえて来た。>	
7430.75	usi ○ <農耕用にも乳牛としても飼育の 盛んである。酪農経営では県下 での先進地である。>	
7500.24	うし ○ (農家では飼っている家もある。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (61)
218	206		
項目名			
うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7501.14	モオ <子>	ウシ
7503.11	usi ○ <約10頭にすぎない。田が多いからある。>	
7510.18	ウシ ○ 農家で飼っている家もある。被調査者宅にはいない。	
7659.31	moumou <見>	usime
7659.40	usime 決めた。	「いる」が「は」○EPと 同じとみ分けて注記 (ない)「いた」とある で記入した。たか「い と同じ意味のような動詞(井村)
7659.51	usime いた	
7659.53	usime たくさんいた。	
7659.62	usime いた。	
8248.18	usi ○ <多し>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (62)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8301.76	うし ○うしは いる	
8303.70	うし ○多い	
8304.66	うし 牛の方が多く飼っている。しかし馬もいる。	
8305.40	うし 牛を多く飼っている。	
8305.76	うし 〈牛の方を多く飼っている〉	
8306.04	うし 〈以前は馬もいたが、近頃は牛ばかりになった。〉	
8306.42	うし ○ここは馬よりも牛の方が多く飼っている。	
8313.72	うし (うしともきこえる。産、播磨ではヒビシは4音一色になっているからである。)	
8313.84	うし 牛を多く飼う。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (63)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8314.52	uʃi 現在は牛の方が多い。	
8315.46	uʃi 近頃、牛を飼う家が多くなった。	
8315.89	uʃi ○大抵牛を飼っている。	
8316.20	uʃi 〈ヶ〉 牛の方が多く飼っている。 be: 〈多〉	
8321.58	bebju 〈古〉	uʃi
8322.68	uʃi ○〈こ〉稀〉	
8324.26	uʃi 牛の方を多く飼っている。	
8325.03	uʃi 牛の方が多い。	
8331.98	uʃi 多い	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (64)
項目名 じし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8332.07	bebu 〈子〉	ufi, uf
8332.84	ufi 〈新〉 o 〈希〉	bebu
8333.03	bebu 〈児〉	ufi
8334.25	bebu 牛の方が多い飼っている。	
8341.94	bebu 〈希〉〈これのもじりの方言〉	ufi!
8342.51	bebu 〈多〉 (武町では飼わないが、隣の 田上町の農家では飼う。 被調査者は本職は農事 もやし。小学校は田上小学校 に通ったので219~222も度16 した。)	ufi!

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記	ページ
項目名 いし		〔B 除いた共通語〕	(65)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8342.69	bebu 〈昔〉	uʃi
8343.06	uʃi 〈新・希〉	bebu
8343.74	uʃi 〈新〉 bebu 〈昔カラノ言イ方〉	
8343.97	bebu 〈兎〉	uʃ
8344.71	uʃi 〈新〉〈共〉	bebu
8345.10	uʃi ○牛馬飼合詞わかれてゐる。	
8345.18	uʃi ○農家では3台と牛飼合詞わかれてゐる。	
8352.40	bebo 〈古〉	uʃi
8353.68	bebu 〈古〉 ○乳	uʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	③ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (66)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8354.14	uʃi 〇 少い	
8354.29	uʃi 〇 馬大けは少ない	
8355.23	uʃi 馬も牛も飼っている。	
8355.62	uʃi ころころは牛の方が多し。	
8361.28	uʃi 〇 〈こゝまれ〉	
8362.81	uʃi 〇 〈金農家飼う〉	
8394.01	uʃi [u]は多し。牛はいる。	
9310.27	uʃi' 〇 今ほ牛ばかりになった。	
9312.42	u:ʃi 〇 〈丸〉	
0237.84	uʃi 〇 〈こゝまれで6頭位〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (67)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕		A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0249.17	uʃi	○ 少ない	
0256.76	uʃi	u:ʃi〔本来の発音〕	
0265.96	uʃi	○ 〈多い〉	
0276.50	uʃi	○ 〈多い〉	
0294.66	uʃi	○ 〈多い〉	
0340.00	uʃi	○ 少し	
1148.59	² uʃi	○ 5頭〈多い〉	
1211.69	² uʃi	○ 50頭〈多い〉	
1221.47	² uʃi	○ 50頭〈多い〉	
1233.61	² uʃi	○ 〈都落に10頭〈多い〉〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 218	地図番号 206	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (68)
項目名 うし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1242.26	² usi ○ <昔は 3頭いたか? 今は1頭しかない>	
1242.72	² usi ○ <部落に1頭いる>	
1251.27	² usi ○ <部落に10頭いる>	
1261.01	usi ○ 20頭<すい。	
1261.16	usi ○ 2頭<すい	
1261.70	² usi ○ 部落に5頭。	
1271.05	² usi ○ 戦前はいたが。戦後飼う よくなった。但し、部落に1頭 しかいない。	
2068.08	ust ○ 50頭<すい。	
	——— 以上 ———	